

'04 芝浦工業大学

解説

(1) 放物線 $y=x^2$ と直線 $y=h$ の交点の x 座標は $\pm\sqrt{h}$ であるから、図 2 より、求める

$$\text{断面積 } S(h) \text{ は } S(h) = 2 \int_0^{\sqrt{h}} (h-x^2) dx = 2 \left[hx - \frac{x^3}{3} \right]_0^{\sqrt{h}} = \frac{4}{3} h\sqrt{h}$$

(2) こぼれはじめたときの水面を表す直線は、点 $(2, 4)$ を通るから、その方程式は、
 $y=a(x-2)+4$ とおける。

$$\text{このとき, } x^2 = a(x-2)+4 \text{ とすると } (x-2)\{x-(a-2)\} = 0$$

$$\text{ゆえに } x=2, a-2$$

$$\begin{aligned} \text{よって } T(a) &= \int_{a-2}^2 \{a(x-2)+4-x^2\} dx = - \int_{a-2}^2 (x-2)\{x-(a-2)\} dx \\ &= \frac{1}{6} \{2-(a-2)\}^3 = \frac{(4-a)^3}{6} \end{aligned}$$

(3) (2) において、 $a=1$ のときであるから、(2) より $T(1) = \frac{9}{2}$

$$\text{このときの水面の高さを } h \text{ とすると, (1) から } \frac{4}{3} h\sqrt{h} = \frac{9}{2}$$

$$\text{よって } h = \frac{9}{4}$$

(4) $h=2$ のとき、(1) から $S(2) = \frac{8\sqrt{2}}{3}$

$$\text{このとき, (2) から } \frac{(4-a)^3}{6} = \frac{8\sqrt{2}}{3}$$

$$\text{よって } (4-a)^3 = (2\sqrt{2})^3$$

$$\text{ゆえに } a = 4 - 2\sqrt{2} \text{ (これは } 0 < a < 4 \text{ を満たす)}$$

講評

定積分の基本的な問題。形としては珍しいが、誘導も丁寧についており、結局は放物線と直線で囲まれる部分の面積の問題に帰着できる。文章をきちんと読んで、確実に取れるようにしておきたい問題。